

# チリ

Republic of Chile

|                                | 2016年   | 2017年   | 2018年   |
|--------------------------------|---------|---------|---------|
| ①人口：1,875万人（2018年）             |         |         |         |
| ②面積：75万6,096km <sup>2</sup>    |         |         |         |
| ③1人当たりGDP：16,079米ドル<br>（2018年） |         |         |         |
| ④実質GDP成長率（%）                   | 1.7     | 1.3     | 4.0     |
| ⑤消費者物価上昇率（%）（12月）              | 2.7     | 2.3     | 2.6     |
| ⑥失業率（%）（10～12月）                | 6.1     | 6.4     | 6.7     |
| ⑦貿易収支（100万米ドル）                 | 4,846   | 7,359   | 4,669   |
| ⑧経常収支（100万米ドル）                 | △3,960  | △5,965  | △9,157  |
| ⑨外貨準備高（ネット）<br>（100万米ドル）       | 40,484  | 38,971  | 39,849  |
| ⑩対外債務残高（グロス）<br>（100万米ドル）      | 164,815 | 180,184 | 184,440 |
| ⑪為替レート（1米ドルにつき、<br>チリペソ、期中平均）  | 676.96  | 648.83  | 641.28  |

〔注〕 ①：6月11日時点の推定値、④：2017年は暫定値、2018年は速報値、⑥：推計値、⑦：国際収支ベース（財のみ）、輸入はFOBゆえ表2と数値が異なる。⑨：金を含む。  
〔出所〕 ①⑤⑥：チリ統計局（INE）、②：チリ統計局（INE）資料から算出、③⑨⑩：IMF、④⑦⑧⑩：チリ中央銀行

2017年下半年から上向いたチリ経済は2018年に入っても好調を維持し、実質GDP成長率は4.0%と5年ぶりの高成長を記録した。自動車販売台数が過去最高を記録するなど国内消費が好調だった。貿易額（通関ベース）は輸出入いずれも前年比10%前後の伸びとなった。対内直接投資額は5年ぶりに前年比で増加したが、ここ10年でみると過去2番目の低水準にとどまっている。2018年3月に発足したピネラ政権はインフラへの大規模投資や税制改正などを打ち出してはいるものの、2019年は米中貿易摩擦や中国経済低迷による銅需要の減少が、国内経済に少なからず影響を及ぼし始めている。

## ■5年ぶりの高成長を記録

2018年のチリの実質GDP成長率は4.0%と、前年の1.3%から大幅に上昇した。2013年に4.0%を記録した後2%前後の成長が続いていたが、5年ぶりに4%超となった。主要産業である銅の国際価格が2017年下半年から上昇し、バチエレ前政権時（2014～2018年）の低迷期からようやく脱却し、国内の消費動向も上向いた。2018年3月に就任したピネラ大統領は好景気の波にうまく乗った格好となった。

GDPを需要項目別にみると、2018年は全ての項目でプラスを記録した。特に民間最終消費支出は4.0%増加し経済を牽引した。2014年以降マイナス成長が続いていた国内総固定資本形成も4.7%と大幅に増加した。財・サービスの輸出入もそれぞれ増加した。輸出は主に銅の国際価格の上昇を受けて上半期に伸び、輸入は投資の回復に伴

い国内の産業が活発化したことによって財の需要が増加した。

産業別にみると、鉱業、農林業、水産業が増加した。農林業の伸びは主に果物によるもので、サクランボ、ブルーベリー、プラムの輸出増が背景にある。また天候に恵まれたためブドウの生産も好調だった。水産業は、第1四半期はマイナス成長だったものの、第2、4四半期に大きく伸びた。海藻などの収穫増や、アンチョビー、養殖サーモンの水揚げ増が背景にある。鉱業は2015年から3年連続で減少していたものの、2017年第1四半期に発生した鉱山でのストライキの終結、国際銅価格の上昇もあり2018年は前年比5.2%増だった。生産量は前年比6%増となる583万トンを記録した。

## ■主要輸出品の銅や果物が好調

チリ中央銀行によれば、2018年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比9.0%増の754億8,200万ドル、輸入が前年比14.0%増の741億8,900万ドルで、貿易収支は12億9,300万ドルの黒字となった。

輸出を品目別にみると、構成比55.3%を占める鉱産物は、銅価格が高値で推移したことやリチウムの輸出増により、前年比6.8%増の417億1,100万ドルだった。銅は前年比4.7%増

表1 チリの需要項目別実質GDP成長率

|            | 2017年 | 2018年 |     |      |     | 2019年 |      |
|------------|-------|-------|-----|------|-----|-------|------|
|            |       | Q1    | Q2  | Q3   | Q4  | Q1    |      |
| 実質GDP成長率   | 1.3   | 4.0   | 4.7 | 5.3  | 2.6 | 3.6   | 1.6  |
| 民間最終消費支出   | 3.0   | 4.0   | 3.7 | 4.9  | 4.1 | 3.6   | 3.2  |
| 政府最終消費支出   | 4.4   | 2.2   | 2.7 | 3.1  | 1.9 | 1.3   | 1.7  |
| 国内総固定資本形成  | △2.7  | 4.7   | 2.5 | 5.3  | 4.9 | 5.6   | 2.9  |
| 財貨・サービスの輸出 | △1.1  | 5.0   | 8.2 | 7.2  | 1.3 | 3.3   | △1.8 |
| 財貨・サービスの輸入 | 4.7   | 7.6   | 5.6 | 10.4 | 8.0 | 6.6   | 2.3  |

〔注〕 四半期の伸び率は前年同期比。2017年は暫定値、2018、19年は速報値。

〔出所〕 チリ中央銀行資料から作成

の364億9,500万ドルで、銅カソード（前年比5.1%増）、銅鉱石（同7.3%増）共に好調だった。銅の主な輸出先は、中国（構成比52.6%）、日本（10.7%）、米国（8.0%）で、中国向けは前年比31.6%増だった。また、リチウムは9億4,800万ドルで同38.2%増と大幅に増加した。

農林水産物は、前年比13.2%増の63億2,100万ドルとなった。果物は同14.7%増と好調で、特にサクランボの輸出は同約2倍の10億800万ドルとなった。サクランボの輸出増は中国の需要増加によるもので、中国向けは構成比88.4%を占めた。ブルーベリーは同42.3%増の5億6,600万ドルで、主な輸出先は過半数を占める米国だ。続いて中国、オランダ、英国で、それぞれ約1割を占めた。

工業製品は274億4,800万ドルで前年比11.7%増だった。うち、加工食品の主要輸出品であるサーモンは、市場価格が高値で推移したこともあり、同13.7%増の47億2,800万ドルで過去最高を記録した。飲料セクターの主要輸出品であるワインは、農牧庁（SAG）によると、生産量は同35.9%と大幅に増加したものの、輸出は減少した。主な輸出先である中国、米国、日本への輸出が減少し、ボトルワインは同0.7%減、バルクワイン他は同1.8%減だった。セルロース・製紙は同34.2%増の42億200万ドルで中国向けが約半数を占めた。化学製品は同15.8%増で主要輸出先の米国、ブラジル、日本でいずれも増加した。

輸出を国・地域別にみると、日本向けは前年比9.3%増で主に銅鉱石、冷凍の太平洋サケが好調だった。インド向けは同39.0%減で銅鉱の輸出が大幅に減少した。米州はカナダ向けの粗銅の輸出減や、アルゼンチン向けの天然ガスやアボカドの輸出減のため、全体で同0.4%減となった。また、ロシア向けが同31.1%の大幅増加を示し、大西洋サケおよびドナウサケや銅鉱の輸出が増加した。

表2 チリの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

|                        | 輸出 (FOB) |        |       |      | 輸入 (CIF) |        |       |      |
|------------------------|----------|--------|-------|------|----------|--------|-------|------|
|                        | 2017年    |        | 2018年 |      | 2017年    |        | 2018年 |      |
|                        | 金額       | 金額     | 構成比   | 伸び率  | 金額       | 金額     | 構成比   | 伸び率  |
| 農林水産物                  | 5,583    | 6,321  | 8.4   | 13.2 | 1,136    | 1,292  | 1.7   | 13.7 |
| 果物                     | 4,888    | 5,607  | 7.4   | 14.7 | 167      | 208    | 0.3   | 24.2 |
| 鉱産物                    | 39,073   | 41,711 | 55.3  | 6.8  | 4,612    | 5,904  | 8.0   | 28.0 |
| 鉄・銅                    | 35,648   | 37,342 | 49.5  | 4.8  | —        | —      | —     | —    |
| 石炭・石油・天然ガス             | —        | —      | —     | —    | 4,176    | 5,361  | 7.2   | 28.4 |
| 工業製品                   | 24,571   | 27,448 | 36.4  | 11.7 | 59,315   | 66,994 | 90.3  | 12.9 |
| 加工食品類、飲料・アルコール類・タバコ    | 11,379   | 12,506 | 16.6  | 9.9  | 5,674    | 6,148  | 8.3   | 8.4  |
| 繊維・衣類・革製品              | 654      | 714    | 0.9   | 9.2  | 4,972    | 5,265  | 7.1   | 5.9  |
| 木材・木製家具                | 2,251    | 2,615  | 3.5   | 16.2 | 731      | 896    | 1.2   | 22.6 |
| セルロース・製紙               | 3,132    | 4,202  | 5.6   | 34.2 | 1,058    | 1,210  | 1.6   | 14.4 |
| 基礎化学製品・石油派生品・ゴム・プラスチック | 3,411    | 3,658  | 4.8   | 7.2  | 15,514   | 18,213 | 24.5  | 17.4 |
| 鉄・鉄鋼、非鉄基礎産業            | 1,081    | 1,198  | 1.6   | 10.8 | 1,922    | 2,470  | 3.3   | 28.5 |
| 金属製品・機械・機器類、電気機器類、輸送機器 | 2,448    | 2,370  | 3.1   | △3.2 | 27,616   | 30,782 | 41.5  | 11.5 |
| 合計（その他含む）              | 69,230   | 75,482 | 100.0 | 9.0  | 65,063   | 74,189 | 100.0 | 14.0 |

〔注〕輸出申告および輸入申告の数値を使用。

①：輸出額には、港での購入品が含まれる。

②：生鮮果実、銅カソード、鉱産物・銅精鉱の輸出額は、推定値。

〔出所〕チリ中央銀行資料から作成

表3 チリの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

|           | 輸出 (FOB) |        |       |       | 輸入 (CIF) |        |       |      |
|-----------|----------|--------|-------|-------|----------|--------|-------|------|
|           | 2017年    |        | 2018年 |       | 2017年    |        | 2018年 |      |
|           | 金額       | 金額     | 構成比   | 伸び率   | 金額       | 金額     | 構成比   | 伸び率  |
| アジア       | 35,151   | 41,104 | 54.5  | 16.9  | 23,570   | 26,138 | 35.2  | 10.9 |
| 日本        | 6,445    | 7,045  | 9.3   | 9.3   | 2,126    | 2,491  | 3.4   | 17.2 |
| 中国        | 19,091   | 25,287 | 33.5  | 32.5  | 15,505   | 17,504 | 23.6  | 12.9 |
| 韓国        | 4,286    | 4,342  | 5.8   | 1.3   | 1,956    | 1,871  | 2.5   | △4.3 |
| インド       | 2,169    | 1,323  | 1.8   | △39.0 | 807      | 977    | 1.3   | 21.0 |
| 欧州        | 10,345   | 10,571 | 14.0  | 2.2   | 10,551   | 12,023 | 16.2  | 13.9 |
| EU28      | 8,816    | 8,719  | 11.6  | △1.1  | 9,792    | 11,046 | 14.9  | 12.8 |
| ドイツ       | 1,085    | 1,001  | 1.3   | △7.7  | 2,650    | 2,914  | 3.9   | 10.0 |
| スペイン      | 1,787    | 1,656  | 2.2   | △7.3  | 1,423    | 1,686  | 2.3   | 18.5 |
| フランス      | 903      | 1,045  | 1.4   | 15.7  | 1,279    | 1,399  | 1.9   | 9.4  |
| 米州        | 22,899   | 22,818 | 30.2  | △0.4  | 28,751   | 33,541 | 45.2  | 16.7 |
| 米国        | 9,933    | 10,320 | 13.7  | 3.9   | 11,726   | 13,965 | 18.8  | 19.1 |
| メルコスール    | 5,161    | 4,950  | 6.6   | △4.1  | 9,329    | 10,883 | 14.7  | 16.7 |
| ブラジル      | 3,440    | 3,388  | 4.5   | △1.5  | 5,607    | 6,678  | 9.0   | 19.1 |
| アルゼンチン    | 969      | 798    | 1.1   | △17.6 | 2,925    | 3,402  | 4.6   | 16.3 |
| 太平洋同盟     | 3,640    | 3,749  | 5.0   | 3.0   | 4,258    | 5,003  | 6.7   | 17.5 |
| メキシコ      | 1,172    | 1,295  | 1.7   | 10.5  | 2,136    | 2,428  | 3.3   | 13.7 |
| ペルー       | 1,766    | 1,732  | 2.3   | △1.9  | 939      | 1,156  | 1.6   | 23.1 |
| 合計（その他含む） | 69,230   | 75,482 | 100.0 | 9.0   | 65,063   | 74,189 | 100.0 | 14.0 |

〔注〕輸出申告および輸入申告の数値を使用。

①：メルコスールには、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイが含まれる。

②：太平洋同盟にはメキシコ、ペルー、コロンビアが含まれる。

〔出所〕チリ中央銀行資料から作成

輸入を品目別にみると、鉱産物が59億400万ドルで前年比28.0%増だった。鉱業活動の活性化によるエネルギー製品の需要増が背景にある。工業製品は同12.9%増の669億9,400万ドルで、輸入全体の9割を占める。中でも木材・木製家具、鉄・鉄鋼、非鉄基礎産業が2割以上の伸びを記録した。

消費財は自動車が前年比17.9%増の39億3,200万ドルとなった。2018年の自動車販売台数（バスなど大型車を除く）が41万7,038台と過去最高を記録したことが影響している（チリ全国自動車産業協会：ANACによる）。中間財は、石油および歴青油や天然ガスなどの加工製品が同29.6%増の110億3,700万ドルとなった。石油は主な輸入先であるブラジルとエクアドルからが8割強を占め、どちらも2桁増だった。

資本財は鉱業活動の活性化に伴い、鉱業・建設用機械が約5割増、トラックおよび商用車も同18.7%増と高い伸びを記録した。

輸入を国・地域別にみると、米州が全体の45.2%を占めており、国別で見ると、中国（構成比23.6%）、米国（18.8%）、ブラジル（9.0%）の順である。中国からは、携帯電話や自動車が輸入の上位を占める。米国からは、石油や天然ガスなどのエネルギー製品が上位を占めた。日本からの輸入は前年比17.2%増で、自動車および関連製品が好調だった。欧州についてはスペインが同18.5%増、ドイツが同10.0%増だった。スペインからは風力発電機が最も多く輸入された。

### ■ CPTPPの批准に遅れ

チリは、90年代から積極的に通商協定の締結を進めてきており、経済連携協定（EPA）、自由貿易協定（FTA）、その他の通商協定による2018年の往復貿易のカバー率は94.6%に達する。2018年の動向を見ると、多国間ではCPTPPの署名式が2018年3月にサンティアゴで行われた。チリは国内承認に時間を要しており、2019年4月17日に下院では可決されたが、2019年8月時点は上院では審議中となっている。

米州内では、メルコスールと結んだ経済補完協定（ACE35）の強化を目的としたウルグアイとのFTAが2018年12月13日に発効、アルゼンチンとのFTAも2019年5月1日に発効した。また、ブラジルとの金融サービスおよび公共調達協定も2018年11月21日にチリのサンティアゴにて署名されるなど、メルコスール諸国との協定の近代化を進めている。また、チリは英国がEU離脱を発表してから初

めての二国間FTA協定締結国となり、2019年1月30日に署名された。発効は英国がEUから脱退したタイミングとなる。

アジア諸国との関係を見ると、インドネシアとのCEPA（包括的経済連携協定）が2017年12月に署名され、2019年8月に発効した。チリ産の果物、野菜、海産物、プラスチック製品、木材製品などの輸出増が期待されており、インドネシアにとっては南米の国で初となる協定で、チリを通じた南米域内のビジネス拡大が期待されて

表4 チリのFTA発効・署名・交渉状況

（単位：％）

| FTA  | 発効日                        | チリの貿易に占める構成比（2018年） |      |      |
|------|----------------------------|---------------------|------|------|
|      |                            | 往復                  | 輸出   | 輸入   |
| 発効済み | 中国、FTA 深化協定（2019年3月発効）     | 28.6                | 33.5 | 23.6 |
|      | 米国                         | 16.2                | 13.7 | 18.8 |
|      | EU28                       | 13.2                | 11.6 | 14.9 |
|      | メルコスール〔経済補完協定（ACE35）〕      | 10.6                | 6.6  | 14.7 |
|      | 日本（EPA）                    | 6.4                 | 9.3  | 3.4  |
|      | 太平洋同盟、追加議定書                | 5.8                 | 5.0  | 6.7  |
|      | 韓国                         | 4.2                 | 5.8  | 2.5  |
|      | インド、部分到達協定、拡張協定（2017年5月発効） | 1.5                 | 1.8  | 1.3  |
|      | エクアドル〔経済補完協定（ACE65）〕       | 1.4                 | 0.7  | 2.2  |
|      | カナダ、FTA 深化協定（2019年2月発効）    | 1.3                 | 1.4  | 1.2  |
|      | タイ                         | 0.9                 | 0.6  | 1.3  |
|      | ボリビア〔経済補完協定（ACE22）〕        | 0.9                 | 1.5  | 0.2  |
|      | ベトナム                       | 0.7                 | 0.4  | 1.0  |
|      | EFTA                       | 0.7                 | 0.8  | 0.6  |
|      | 中米5カ国                      | 〔注〕                 | 0.5  | 0.7  |
|      | トルコ                        | 2011年3月1日           | 0.5  | 0.4  |
|      | オーストラリア                    | 2009年3月6日           | 0.3  | 0.3  |
|      | P4（EPA）                    | 2006年11月8日          | 0.2  | 0.2  |
|      | マレーシア                      | 2012年2月25日          | 0.2  | 0.2  |
|      | パナマ                        | 2008年3月7日           | 0.2  | 0.3  |
|      | 香港                         | 2014年10月9日          | 0.1  | 0.1  |
|      | ベネズエラ〔経済補完協定（ACE23）〕       | 1993年7月1日           | 0.1  | 0.1  |
|      | キューバ〔部分到達協定（ACE42）〕、追加議定書  | 2008年6月27日          | 0.0  | 0.0  |
|      | メキシコ〔FTA（ACE41）〕           | 1999年7月31日          | 0.0  | 0.0  |
|      | コロンビア                      | 2009年5月8日           | 0.0  | 0.0  |
|      | ペルー                        | 2009年3月1日           | 0.0  | 0.0  |
|      | ウルグアイ                      | 2018年12月13日         | 0.0  | 0.0  |
|      | アルゼンチン                     | 2019年5月1日           | —    | —    |
|      | インドネシア〔CEPA（包括的経済連携協定）〕    | 2019年8月10日          | —    | —    |
|      | 合計                         |                     | 94.6 | 94.6 |
| 署名済み | 英国                         | —                   | —    | —    |
|      | ブラジル、金融サービスおよび公共調達協定       | —                   | —    | —    |
|      | CPTPP                      | —                   | —    | —    |
| 交渉中  | EU、FTA 深化協定                | —                   | —    | —    |
|      | 韓国、FTA 深化協定                | —                   | —    | —    |
|      | エクアドル、FTA                  | —                   | —    | —    |

〔注〕 構成比の算出には、輸出FOB価格と輸入CIF価格を使用。

- ①：太平洋同盟には、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリが含まれる。
- ②：追加議定書は、既存の2国間FTAをベースとする広域FTA。
- ③：中米5カ国には、コスタリカ（2002年2月14日発効）、エルサルバドル（2002年6月1日発効）、ホンジュラス（2008年7月19日発効）、グアテマラ（2010年3月23日発効）、ニカラグア（2012年10月19日発効）が含まれ、発効日は異なる。
- ④：P4には、チリ、ニュージーランド、シンガポール、ブルネイが含まれる。
- ⑤：キューバとは、2010年11月11日に追加議定書が発効した。
- ⑥：メキシコ、コロンビア、ペルーについては太平洋同盟として、ウルグアイ、アルゼンチンについてはメルコスールとして構成比は計算される。

〔出所〕 チリ国内法規およびDIRECON資料などから作成

表5 チリの主な対内直接投資案件（2018年）

（単位：100万ドル）

| 業種       | 企業名             | 国籍  | 時期       | 投資額   | 概要  |
|----------|-----------------|-----|----------|-------|---|
| 鉱業       | 三井物産            | 日本  | 2018年3月  | 421   | JX金属が保有するチリのコジャワシ銅鉱山の持ち分3.60%を取得。この取引により三井物産の持ち分は7.43%から11.03%に増加。  |
| 鉱業       | テック・リソーシズ       | カナダ | 2018年4月  | 163   | テック・ケブラダ・ブランカ銅会社 の13.5%を取得。テック・リソーシズの持分は90%へ増加。   |
| 鉱業       | 天斉リチウム          | 中国  | 2018年12月 | 4,066 | カナダのニュートリエンからソシエダド・キミカ・イ・ミネラ・デ・チリ（SQM）の株式23.77%（6,266万6,568株）を買収。   |
| 保険       | ユナイテッドヘルス・グループ  | 米国  | 2018年1月  | 2,770 | チリの民間医療会社バンメディカの株式96.8%を買収。   |
| 飲料       | コカ・コーラチリ        | 米国  | 2018年10月 | 70    | アンジェリーニグループからチリの果物加工食品会社グアジャラウコを買収。   |
| 水産業      | ベンチマーク・ホールディングス | 英国  | 2018年6月  | 16    | 現地の子会社を通じてチリの養殖会社アクアチレの子会社サルモネス・チャイカスの株式49%を取得。   |
| 電気・ガス・水道 | 丸紅              | 日本  | 2018年7月  | 記載なし  | インフラファンド（Toesca Administradora General de Fondos）と共にガス配給事業会社 ガスパルボの株式100%を取得。   |
| 電気・ガス・水道 | 丸紅              | 日本  | 2018年8月  | 43    | 産業革新機構（INCJ）と共同出資する水道事業会社アグアス・ヌエバを通じ、インフラファンド（Toesca Administradora General de Fondos）と共同で水道事業会社アグアス・チャニヤルを100%買収。株式構成は50%ずつ。 |
| エネルギー    | 中国南方電網          | 中国  | 2018年3月  | 1,300 | ブルックフィールド・インフラストラクチャ・パートナーズが所有するETCトランスミッション・ホールディングスの27.7%を買収。   |

〔注〕報道などから対内直接投資（外国投資家以外から、企業の10%以上の株式を取得）に該当する事例を抽出後、各社からのプレスリリース等で確認した。業種別に表示。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表6 チリの対日主要品目別輸出入&lt;通関ベース&gt;

（単位：100万ドル、%）

|                      | 輸出（FOB） |       |       |       |                            | 輸入（CIF） |       |       |         |
|----------------------|---------|-------|-------|-------|----------------------------|---------|-------|-------|---------|
|                      | 2017年   |       | 2018年 |       |                            | 2017年   |       | 2018年 |         |
|                      | 金額      | 金額    | 構成比   | 伸び率   |                            | 金額      | 金額    | 構成比   | 伸び率     |
| 銅鉱（精銅を含む）            | 3,583   | 3,845 | 54.6  | 7.3   | 乗用車（1500cc超3000cc以下）       | 831     | 921   | 37.0  | 10.8    |
| 太平洋サケ（冷凍、頭・はらわた抜き）   | 503     | 635   | 9.0   | 26.3  | 軽油、ディーゼル油                  | 172     | 199   | 8.0   | 15.5    |
| モリブデン精鉱（焼いたもの）       | 275     | 403   | 5.7   | 46.5  | タイヤ（建設、産業車両用）              | 103     | 109   | 4.4   | 6.5     |
| リチウムの炭酸塩             | 133     | 212   | 3.0   | 59.6  | 乗用車（1000cc超1500cc以下）       | 68      | 90    | 3.6   | 32.3    |
| トラウト（冷凍、フィレ）         | 205     | 198   | 2.8   | △3.5  | シャシー（トラック用、有効積載量2トン超）      | 68      | 80    | 3.2   | 17.3    |
| 木材チップ（ユーカリ・グロビュラス）   | 186     | 184   | 2.6   | △0.7  | シヨベルカー                     | 35      | 56    | 2.2   | 57.4    |
| 鉄鉱（ペレット）             | 125     | 133   | 1.9   | 6.2   | 乗用車（3000cc超）               | 49      | 50    | 2.0   | 1.5     |
| 太平洋サケ（冷凍、フィレ）        | 82      | 79    | 1.1   | △2.9  | 石油および歴青油                   | 10      | 42    | 1.7   | 309.4   |
| 豚肉（冷凍、骨なし）           | 70      | 78    | 1.1   | 11.9  | 貨物自動車（有効積載量2トン超）           | 36      | 41    | 1.7   | 13.2    |
| 化学木材パルプ（さらしたものの、針葉樹） | 56      | 76    | 1.1   | 35.4  | 硫酸および発煙硫酸                  | 9       | 35    | 1.4   | 272.9   |
| 木材（松、針葉樹）            | 57      | 71    | 1.0   | 24.7  | 鉄・非合金鋼のフラットロール製品（厚さ3mm未満）  | 29      | 35    | 1.4   | 21.0    |
| 陰極銅およびその切断片          | 80      | 63    | 0.9   | △22.1 | 軽質油およびその調製品                | -       | 29    | 1.2   | 全増      |
| 木材チップ（ユーカリ・ニテンス）     | 53      | 62    | 0.9   | 16.5  | 石油および歴青油                   | 71      | 28    | 1.1   | △61.3   |
| ウニ（冷凍）               | 66      | 61    | 0.9   | △7.0  | 魚の油脂およびその分別物（肝油を除く）        | 1       | 24    | 1.0   | 4,519.1 |
| 大西洋サケ（冷凍、フィレ）        | 94      | 56    | 0.8   | △40.5 | 乗用車（ディーゼル、1500cc超2000cc以下） | 22      | 22    | 0.9   | △0.1    |
| 合計（その他含む）            | 6,445   | 7,045 | 100   | 9.3   | 合計（その他含む）                  | 2,126   | 2,491 | 100   | 17.2    |

〔注〕輸入の「石油および歴青油」は上位にきているものがHS：27101930、下位がHS：27101922となっている。

〔出所〕チリ中央銀行資料から作成

いる。他にも韓国とのFTA深化協定やEUとのEPA深化協定などの案件が引き続き進行している。

## ■エネルギー、不動産、鉱業分野のM&Aが目立つ

中銀によれば、2018年の対内直接投資額は前年比3.9%増の60億8,200万ドルだった。5年ぶりに前年増を記録したものの、ここ10年で過去2番目の低水準となった。M&Aの調査を行っているランドマーク（Landmark）の発表によれば、2018年のM&A案件総数は86件で、前年

に比べ32件少なかった。案件総数の内訳はエネルギー関連が14件と最も多く、次いで不動産13件、鉱業10件と続いている。

金額が公表されている案件で最も大きかったのは鉱業分野で、中国の天斉リチウムが行ったカナダのニュートリエンが保持するチリ大手化学メーカー、ソシエダド・キミカ・イ・ミネラ・デ・チリ（SQM）の株式23.77%の買収案件であり、投資額は40億6,600万ドルだった。エネルギー関連では、中国の中国南方電網によるカナダのブルックフィールド・インフラストラクチャ・パートナー

ズが所有するETCトランスミッション・ホールディングスの27.7%の株式買収案件があり、投資額は13億ドルだった。保険分野では、米国のユナイテッドヘルス・グループがチリの民間医療会社バンメディカの株式96.8%を27億7,000万ドルで買収した。昨年に比べ件数は少ないものの大型M&A案件が目立った。

チリ第2の産業であるサーモン業界でも、中国のレジエンドホールディングス傘下のジョイピオが11月、チリのオーストラリス・シーフードを8億8,000万ドルで買収し、チリにおける初の中国企業によるサーモン企業の大規模買収となった。

日系企業では三井物産がJX金属の保有するポリビアとの国境付近に位置するコジャワシ銅鉱山の持ち分3.60%を4億2,100万ドルで取得した。この取引により三井物産のコジャワシ銅鉱山の持ち分は7.43%から11.03%に増加した。丸紅は7月、8月と立て続けにインフラ分野でM&Aを行った。インフラファンド（Toesca Administradora General de Fondos）と共同で国内第2位（シェア12%）のガス配給事業会社ガスバルポの株式100%を取得した後、産業革新機構（INCJ）と共同出資する水道事業会社アグアス・ヌエバスを通じ、同インフラファンドと共同で水道事業会社アグアス・チャニャルの株式100%を買収した。

ピネウラ政権が掲げたエネルギー目標では、2040年までに全ての石炭火力発電所を廃止させ、再生エネルギーに置き換えるとされている。2019年6月、手始めに国内28カ所あるうちの8カ所の石炭火力発電所を5年以内に廃止すると発表した。

投資環境に関するものでは、税制改正法案が現在下院にて審議されている。ピネウラ大統領は、バチェレ前政権時に複雑化された税制の簡素化を提案しており、法案には、現行の2種類の納税方式を単一にすることが記載されている。また、ストーリーミングやダウンロードされる映画・音楽などのデジタルコンテンツのエンターテインメントサービス、海外の広告サービス、データストレージサービスなどを含むデジタルサービスをチリで提供す

る企業に対し、当該サービスのユーザーが支払った金額の10%を課税することなども含まれている。

## ■対日貿易は輸出入ともに好調

2018年の日本・チリ間の貿易は輸出入共に増加した。チリ側の統計によると2018年の対日輸出は前年比9.3%増の70億4,500万ドル、輸入は同17.2%増の24億9,100万ドルで、日本はチリにとって3位の輸出先、6位の輸入元だった。

主な対日輸出品は銅鉱で、54.6%のシェアを占める。他の上位品目では太平洋サケ（前年比26.3%増）、モリブデン鉱（同46.5%増）、リチウムの炭酸塩（同59.6%増）でいずれも好調だった。日本側輸入統計によると、ワインの国別輸入量でチリが4年連続首位を維持している。2019年4月1日には日本・チリEPAにより、これまで段階的に引き下げられていた輸入関税が撤廃となり、さらなる輸出拡大が期待されている。

主な対日輸入品は乗用車で、輸入全体の44.4%を占める。ショベルカーや産業車両用のシャシーなどは国内の鉱業活動の活発化に伴い増加した。その他、軽油・ディーゼル油、タイヤなどが上位を占めた。

2018年9月、ロベルト・アンプエロ外相が訪日し、日・チリ科学技術協力協定の交渉を開始することやCPTPP協定の早期発効に向けて引き続き緊密に連携していくことで一致した。11月にはAPEC首脳会議出席のために訪れたパプアニューギニアにおいて日・チリ首脳会談が開催された。

2019年はチリがAPEC議長国を務め、すでに貿易担当大臣（MRT）会合が開催、政務官がチリを訪問するなど要人往来が活発になっている。6月のG20大阪サミットにはAPEC議長国枠でピネウラ大統領が出席した。11月にはチリでAPEC首脳会合、12月は国連気候変動枠組条約第25回締約国会議（COP 25）が開催されるなど、主要国際会議の開催国として注目を集め続ける1年となる。